

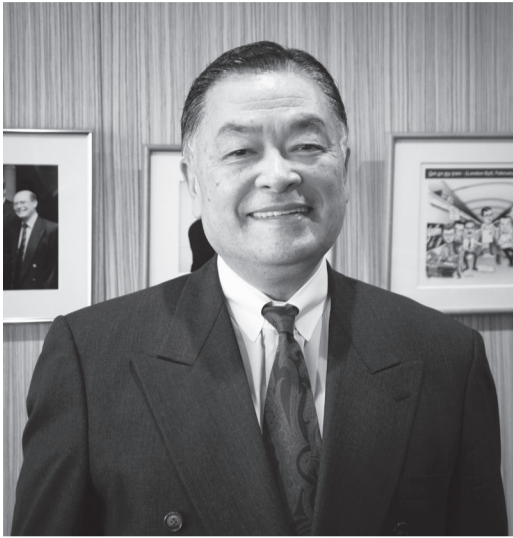
# 東京理科大学新聞

【発行所】  
東京理科大学新聞会

<住所>  
〒162-0825  
東京都新宿区  
神楽坂1丁目3番地  
2号館 2515 部室

<連絡先>  
E-mail  
tuspress@gmail.com  
HP  
http://tuspress.jp

## 東京理科大学理事長 中根 滋インタビュー 「日本の理科大」から「世界の理科大」へ



▲取材に応じていただいた中根滋理事長

五〇年後、一〇〇年後の未来に我々は何を見るのか。これから先の社会を生き、そして次の世代へとこの世界を託すために、我々に残された課題はあまりにも多い。日本は今後50年間で15歳から64歳までの人口が約半分になると予想され、それにもなつて当然経済規模も縮小していく。経済規模が縮小し、国際競争力を失った資源を持たない国の未来はどうなるのか。それだけでなく、環境問題や食料問題、自殺や鬱などに見られるQOL (Quality Of Life)の問題と、挙げれば切りが無いほどに、これから先の社会で我々が生きていくために解決しなければならぬ問題は数多く存在する。こうした、現行の社会に変革が必要とされている状況の中では当然大学も変わっていくか、ならないか。そこで中根滋理事長は、本学の大規模な改革に乗り出した。日本の理科大から世界の理科大を目指し、本

学と本学学生の国際競争力を高めるため、教育と研究の改革に取り組んでいくという。教育においては、どこで教えるかの見直しを行う。大学で何を教えるのか、今現在で大学で教えていることがこれから先本場に役に立つのか。そういったことを反省し教育内容の改善を図る。またオリジナルの教科書を導入するなど、新たな教育方法を検討し、さらに学生を指導する教授陣には、世界をリードする優秀な人材の採用も考えている。そしてどこで教育するか。例えば英語力やグローバルスキルが、大学の教室内で本当に身に付くのだろうか。アメリカのバロンソン大学では起業家を育成するために、新入生に実際に資本金を渡し企業経営を行わせ、その中で起業に必要なものを経験的に学ばせるといふ。そういったことを勘案し、本学では毎年約4000人の学生を1年

間アメリカへ留学させる計画を進行している。提携先はバロンソン大学、テキサス大学、そしてマサチューセッツ工科大学が検討されており、この計画は今後数年の内に形にするとしている。

今世界をリードする人々の中には、ビル・ゲイツやマーク・ザッカーバーグのように大学在学中に自らの進む道を決め、マイクロソフト社やfacebookを作り上げてしまつた。おおよそ常人とは考えられないような人間も存在する。こういった人々は「異常値」であるという。しかし、これから先の社会で世界を相手に戦うためには「異常」でなければならぬ。つまり異常であるほどに、自分の色を持つ。世界に先駆けて創造性を発揮できるような人間でありたいということだ。本学の学生は、かねてよりよく働くと評判で、それなりに出世もする。しかし本学よりも理性と方程式で行動する傾向があるため、異常性が足りないのではないかと。そうした本学の学生を全員異常値にすべく、理事長はこの教育改革を進めているという。

もう一つのグローバル事業として、アジアへの分校設立がある。現在進行しているのは、マレーシアに分校を建てる計画で、これはマレーシア側と協議をし、進めている。この分校では日本語で教育が行われ、卒業後は日本での就職が念頭に置かれている。実際マレーシア分校が設置される

かどうかは来年3月に決定されるが、もし設立されれば、その数年後、彼らは私たちと共に日本をリードする仲間になつていくかもしれない。

またこれからの研究においては、環境や資源、農業といった今早急に世界で必要とされている研究、さらには異なった研究分野の狭間開拓に力を入れ、的を絞って成果を狙つた研究を進めていく方針である。そして同時に、世界の理科大たる存在を目指してノーベル賞受賞を狙う。

中根理事長は、ソフトウェアと経営という領域で、世界を相手に活躍してきた人物である。理事長は学生時代からアメリカへ行きたいという希望を持ち、本学の理工学部を卒業後、日本IBM(International Business Machines Corporation)に入社を決めた。IBMへは、カスタマーエンジニアとして入社、その後、社内の試験に失敗し翌朝失意の中課長に呼ばれた。そこで、「これからソフトウェアをやるつもりです」と言われその世界に入ったのが転機だったという。そして開発のためにアメリカのIBM本社へ渡り、そこで一気に才能を開花させ、現在までソフトウェアを手がけているという。その後会社の経営に携わり、これまでさまざまなソフトウェア会社で経営手腕を発揮してきた。理事長はアメリカに渡り、日本には無いアメリカンド

リームという考え方に会った。山の上から眺めるアメリカ大陸に世界の大きさを感じ、そこでわらじのようなステッキを豪快に食らい、そして多くのアメリカ人に愛された。理事長は、アメリカという地で、実際に行つてみなければ分からない多くの出会いを経験した。理事長は今まで世界各国を飛び回り、中国と台湾、韓国には会社も創つてきたが、その国のことも、自分が経営に向いていていふことも実際に経験してみたいことには分らなかつたという。人間は、自分の好きな事には強い。しかしそれは、教室の中だけにいても、日本の中だけにいても分らない。学生には一歩外に踏み出して、色々なものをみてほしい。若いうちに大きな夢を抱き、異常であるほどに、夢に向かつてどこまで行けるのか、自分を引つ張つていってほしい。それが人生を楽しむことであり、そうしていくと本當に沢山の良いことがある。まさに今まで世界を相手に活躍し、今なお現役で世界を相手取る理事長の生きざまである。そして同時に、肩の力を抜いて人生を楽しむことも忘れてはいけないという。素敵な出会いをし、良い家庭を築き、良い親となる。そして健康であれ。それらはお金には変えられない、人生の楽しみだから。私たちの先輩である理事長のこの言葉を胸に、大きな夢を抱き、人生を楽しんでいこうではないか。

- ② 就活を終えた4年生による討論
- ③ 企業インタビュー・OGインタビュー
- ④ 国家公務員試験・教職
- ⑤ 大学院入学試験・論説
- ⑥ 理科大版この漫画がすごい、他



私は熱く理想を語る少年漫画が大好きだし、常に前向きでいゆる「汚い心」が一切存在しない「アイカッ」が大好きだ。しかしある人は私にこう言うのだろ「この世界は綺麗事だけではない」と。一体私がそれを理解していないとでも言うのだろうか。もちろん私は知っている、この世界がいかに残酷で、希望の二文字が時として簡単に見えなくなることを。その綺麗事が具体的に何を意味するのか今回は語らないが、私にとってこの世界の現状は理想を諦める理由にはならない。▼人生とは創造である。まだ何も知らなかつた赤ん坊のあの日から、私たちは友人関係を築き、高校に通い、大学に進み、そしてこれまで未知の世界に自らの道を創造し、その上を歩いてきたのである。日本に生まれ本学に通う私たちは、世界の中でも恵まれている方ではあるが、それでも歩んできた道は決して平坦ではなかつたはずだ。しかしいつだって私たちは、目の前にある課題をクリアして前に進んできた。そして今日まで一生懸命生きてきたあなたの人生に、希望がなかつたと言えただろうか。希望は確かにあるのだ。そしてこの社会の未来も、いままでも私たちがそうしてきたように、希望へと向かつて創造していくものではないだろうか。社会とは人間世界の在り方である。朝起き鏡で見る自分が社会であり、「おはよう」と言葉を交わす友人もまた社会なのだ。そうしてみると、ほんの小さなところからこの社会は変えていけるはずだ。(ともしちゃん)

### 日本最大級の就職イベントが、開催史上「最大」のスケールに

# マイナビMEGA 就職EXPO

**3.8** **SUN** **東京ビッグサイト**  
11:00 ~ 17:30  
入場無料 服装自由 入退場自由  
http://job.mynavi.jp

**理系専用エリアが大充実**

※出展企業は変更となる場合がございます 詳細な情報は 後日公開するマイナビ就職EXPO HPよりご確認ください。

出展予定企業  
資生堂、パナソニック、Honda(本田技研工業)、アイシン・エイ・ダブリュ  
アルプス技研(東証一部上場)、今治造船、インターネットイニシアティブ(IIT)  
NECソリューションイノベータ、NECネットエスアイ、NTN  
NTTデータフロンティア、キャノン、キャノンソフトウェア、高周波熱錬  
JR東海(東海旅客鉄道)、JR西日本(西日本旅客鉄道)、JR東日本メトロニクス  
住友電装、ソースネクスト、大陽日酸、東芝プラントシステム、東洋アルミニウム  
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、日本品質保証機構(JQA)  
ネクスコ東日本エンジニアリング、日立産機システム、日立ビルシステム、日野自動車 ほか

**アクセス**  
●りんかい線 国際展示場駅 徒歩7分  
●ゆりかもめ 国際展示場正門駅 徒歩3分  
■各線東京駅「鍛冶橋駐車場」より無料シャトルバス運行あり

マイナビ 2016 検索 マイナビ 2016